

リゾート運営手法と日本のおもてなし

実施日：平成30年2月26日～3月2日 於：ロシア（ Санктペテルブルク, モスクワ）

■ 派遣専門家



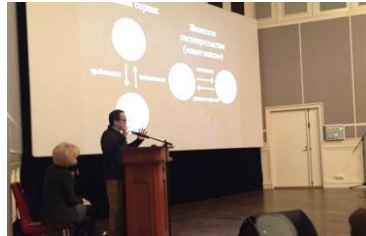
星野佳路

株式会社星野リゾート 代表

1983年慶應義塾大学経済学部卒業後、米国コーネル大学ホテル経営大学院修士課程修了。1991年星野温泉（現在の星野リゾート）社長に就任。所有と経営を一体とする日本の観光産業でいち早く経営特化戦略をとり、経営サービスを提供し、投資家に利益を配当するビジネスモデルへ転換。現在、運営拠点は国内外38カ所に及び、2019年に星野リゾートは創業105周年を迎える。

■ 事業概要

● ロシア（ Санктペテルブルク）



アングレテールホテルでの講演



アングレテールホテルでの質疑応答



レセプションでの
旅行会社・ホテル関係者との懇談

● ロシア（モスクワ）



ホテル・ナツィオナリでの講演



モスクワ市立経営大学での
講演



モスクワ市立経営大学での
質疑応答

■ 実施結果

星野リゾート代表の星野さんがロシアを訪問し、観光業界・大学関係者等に向けて講演を行いました。星野さんは「日本旅館」を世界における宿泊施設のカテゴリーの一つとするべく、その地方独特の文化や風習を取り入れたそこにしかない施設を運営されています。講演では、ターゲットとなる客層ごとのブランド展開と、西洋のサービスとは異なる日本のおもてなし精神を組み合わせ、星野リゾート独自の経営手法について説明するとともに、温泉の入り方といった日本の生活習慣を実際に体験できる温泉旅館の魅力も紹介しました。現地の不動産会社からはロシアにおける日本旅館型ホテルの建設計画が示され、将来の日露ビジネスプロジェクト展開が期待される他、ロシアからの訪日ツアー企画増加に向けて業界関係者とも多くの意見交換が行われました。インターネットメディアでは講演の様子に加え、現地メディアによる星野さんへのインタビュー記事も掲載されました。